

動物実験に関する自己点検・評価報告書

琉球大学

2022年9月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程（規程及び体制等の整備）

| |
|---|
| 1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。 |
| 2) 自己点検の対象とした資料 琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験取扱細則、琉球大学における動物実験の組織体制図 |
| 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 「基本指針には概ね適合しているが、機関内規程の一部に改善すべき点がある。」とした前年度の自己点検・評価に基づき、規則の改定準備を進めている段階にある。 |
| 4) 改善の方針、達成予定時期 基本指針、飼養保管基準、国際的な動向、および本学の状況を確認しつつ、規則・細則の改定準備を引き続き進める。 |

2. 動物実験委員会

| |
|--|
| 1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input checked="" type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。 |
| 2) 自己点検の対象とした資料 琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験取扱細則、琉球大学動物実験委員会委員一覧 |
| 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 本学の規則・細則では、3 種のカテゴリーの委員の構成と役割について定めていないため、前年度と同様に、一部に改善すべき点がある、とした。 |
| 4) 改善の方針、達成予定時期 委員を指名する立場にある学長を補佐する研究担当理事への問題点の報告は、2021 年度に完了している。今後も継続して改善を促す。 |

3. 動物実験の実施体制

| |
|---|
| 1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。 |
| 2) 自己点検の対象とした資料 |

| |
|--|
| 琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験取扱細則、琉球大学動物実験計画書・動物実験計画（変更・追加）承認申請書・動物実験結果報告書、飼養保管施設設置承認申請書、施設等廃止届、飼養保管施設・動物実験室管理状況一覧 |
| 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 小規模飼養保管施設の新規設置や変更の申請に合わせて、飼養保管手順書・マニュアル等の作成を進めた。 |
| 4) 改善の方針、達成予定時期 今後も、動物種や使用目的に合った飼養保管手順書・マニュアル等の作成および充実に努める。 |

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

| |
|---|
| 1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。 |
| 2) 自己点検の対象とした資料 琉球大学動物実験規則、琉球大学遺伝子組換え生物等使用安全管理規則、琉球大学医学部病原体等安全管理規程、琉球大学千原地区病原体等安全規則、医学部附属動物実験施設利用細則および感染実験区域の利用手順、琉球大学熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設動物実験規定、熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設動物管理区域利用細則、琉球大学安全衛生マニュアル、動物実験計画書チェックシート、教育研究用途における向精神薬取扱いの手引き（研究基盤センター） |
| 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 向精神薬に属する麻酔薬の使用・保管について、学内管理体制や研究者への周知・指導・助言が概ね完了した。動物アレルギー、人獣共通感染症、および野外活動における安全衛生について、委員会での議論や情報共有を進めた。 |
| 4) 改善の方針、達成予定時期 向精神薬の適正管理を今後も継続する。動物実験等実施に関わる安全衛生についての情報共有や啓蒙に努める。 |

5. 実験動物の飼養保管の体制

| |
|---|
| 1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 |
| 2) 自己点検の対象とした資料 琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験取扱細則、飼養保管施設設置承認申請書、動物実験室設置 |

承認申請書および施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届、医学部附属動物実験施設利用細則および各種飼育・実験区域の利用手順、熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設動物実験規定、熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設動物管理区域利用細則、琉球大学安全衛生マニュアル、琉球大学動物実験等における災害時対応マニュアル、飼養保管施設・動物実験室設置状況一覧、フィールド科学センターにおけるアニマルウェルフェアに対応した家畜の飼養管理方法、JGAP 認証（肉用牛 飼養工程・自給飼料生産工程 登録番号 L470000001 初回認証日 2021.3.1）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

フィールド科学センターの JGAP 認証取得や、小規模飼養保管施設の飼養保管手順書・マニュアル等の策定など、以前よりも飼養保管体制が大幅に改善されている。ただし、飼養保管手順書・マニュアル等の策定が、すべての施設について完了しているわけではない。また、部局のスペース配分・利用方法の変更に伴う動物飼育室の廃止のために実験を中止せざるを得なくなった動物実験計画が 1 件、空調の故障による飼育室内温度の上昇で感染実験を中断した動物実験計画が 1 件あった。そのため、一部に改善すべき点がある、とした。

4) 改善の方針、達成予定時期

部局が飼養保管施設の廃止を決める際に、他部局での飼養保管の継続について検討する体制を構築する。空調故障時の緊急対応マニュアルを準備する。動物種に応じた飼養保管手順書・マニュアル等の策定や見直しを継続する。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

両生類や魚類を用いる動物実験等実施についても計画書審査や施設等設置を実施している現況と、哺乳類・鳥類・爬虫類を対象動物と定めた学内規則との間には矛盾や齟齬がある。その解消のために、2021 年度より学内規程改定の準備を開始した。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

| |
|---|
| <p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> |
| <p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験取扱細則、「動物実験計画書の申請について」（申請者向けガイドライン）、動物実験委員会議事録、2021 年度動物実験計画書、2021 年度動物実験計画書一覧、2021 年度動物実験計画に対する動物実験結果報告書</p> |
| <p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>委員会は適正に機能しているが、3 種のカテゴリーの委員の構成と各委員の役割分担について、改善すべき点がある。</p> |
| <p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>3 種のカテゴリーの委員の構成と役割を含めた、動物実験委員会の今後について、委員を指名する学長あるいは研究担当理事を交えた検討を継続して進める。</p> |

2. 動物実験の実施状況

| |
|--|
| <p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> |
| <p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>琉球大学動物実験規則、2021 年度動物実験計画書、および 2021 年度動物実験計画に対する動物実験結果報告書</p> |
| <p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>2021 年度に実施された動物実験計画は 210 件（2021 年度からの新規 87 件、前年度からの継続 123 件）であり、報告書回収率は 100%であった。適正に動物実験が実施されていたことを確認した。</p> |
| <p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>特になし。</p> |

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

| |
|--|
| <p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。</p> |
|--|

| |
|---|
| <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。 |
| 2) 自己点検の対象とした資料 琉球大学動物実験規則、琉球大学遺伝子組換え生物等使用安全管理規則、琉球大学医学部病原体等安全管理規程、医学部附属動物実験施設利用細則および感染実験区域利用手順書、琉球大学熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設動物実験規定、熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設動物管理区域利用細則、琉球大学安全衛生マニュアル、2021 年度動物実験計画書、2021 年度動物実験計画書一覧 |
| 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験等実施における労働安全衛生について、委員会内や関連委員会・担当事務部門との間で情報共有を行い、動物実験委員会のポリシーの設定や教育訓練内容の充実を進めた。 |
| 4) 改善の方針、達成予定時期 今後も安全管理に関する教育訓練内容の充実や、学内での情報共有に努める。 |

4. 実験動物の飼養保管状況

| |
|--|
| 1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 |
| 2) 自己点検の対象とした資料 医学部附属動物実験施設利用細則および各種飼育・実験区域の利用手順、琉球大学熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設動物実験規定、熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設動物管理区域利用細則、2021 年度動物実験計画書、飼養保管施設・動物実験室設置状況、実験動物飼養保管状況報告書および自己点検票（別記様式 7）、飼養保管および使用の現況 |
| 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 部局のスペース配分・利用方法の変更に伴う動物飼育室の廃止のために実験を中止せざるを得なくなった計画が 1 件、空調の故障による飼育室内温度の上昇で感染実験を中断した計画が 1 件あったため、一部に改善すべき点がある、とした。また、2020 年度、2021 年度に新規設置申請や変更申請のあった小規模飼養保管施設の手順書・マニュアル等の整備は進んでいるが、全ての飼養保管施設についての整備や見直しは完了したわけではない。 |
| 4) 改善の方針、達成予定時期 飼養保管に関わる問題が起こった場合の対応策について検討する。また、今後も継続して、実験動物管理者に手順書・マニュアル等の作成を指示し、委員会がその作成を支援する。 |

5. 施設等の維持管理の状況

| |
|---|
| <p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> |
| <p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験取扱細則、飼養保管施設・動物実験室設置状況、実験動物飼養保管状況報告書および自己点検票（別記様式 7）</p> |
| <p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>基本指針や飼養保管基準に適合した施設等の維持管理の重要性と委員会の役割について、委員会は認識しているが、施設等の管理責任を負う学長や部局等の長との間で情報を共有できていない。飼育室の廃止や空調不具合による実験の中断・終了という事態も起こった。全学的な施設等の維持管理の方法が確立されていないため、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある」とした。</p> |
| <p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>各施設等の実験動物管理者および管理者から、事務部、動物実験委員会、学長に至るまでの関係者が、情報や方針を共有できるよう、さらに検討を続ける。</p> |

6. 教育訓練の実施状況

| |
|--|
| <p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> |
| <p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>2021 年度教育訓練実施記録、教育訓練受講者リスト、教育訓練代替申請書</p> |
| <p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>実験用齧歯類を扱う飼育室を担当する実験動物管理者や飼養責任者の実験動物管理者研修会（日本実験動物学会主催）の受講や、動物実験の機関管理に関する教育動画（学内構成員限定公開）の視聴案内などを進めた。また、本学の教育訓練に有効期限や再受講義務を定めることを、2021 年度に委員会で決定した。しかし、教育訓練実施に関する規則・細則の改定や周知が完了していない。そのため「一部に改善すべき点がある」とした。</p> |
| <p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>教育訓練の実施についての規則・細則の改定と周知を進める。</p> |

7. 自己点検・評価、情報公開

| |
|---|
| <p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> |
|---|

| |
|---|
| <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 |
| 2) 自己点検の対象とした資料 琉球大学動物実験規則、琉球大学動物実験取扱細則、動物実験委員会議事録、動物実験についての情報公開（研究推進課ウェブページ） |
| 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本指針への適合性および飼養保管基準への遵守状況について自己点検・評価を実施し、基本指針に従って情報公開を実施した。 |
| 4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。 |

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

| |
|-------|
| 特になし。 |
|-------|